土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　福川河川改修事業に伴う検討業務委託（2工区）

事業または工事名

調査目的及び調査対象　河川 その他

ボーリング名	No.11	調査位置	広島県福山市神島町			北緯	34° 29′ 01.1700″
発注機関	広島県　東部建設事務所	調査期間	2021年06月30日～2021年07月02日			東経	133° 20′ 26.7900″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 7.47m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	14.00m	使用機種	試錐機	東邦　D1-C	エンジン	ヤンマー　TF120M	ポンプ　東邦　BG-3CR

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	6.32	1.15		盛土（シルト混じり砂）		暗灰			細砂主体。部分的に木片、φ10mm程度の亜角礫含む。	
2 3	3.87	3.60		盛土（砂混じりシルト）		暗褐～暗灰			含水低、粘性中位のシルト主体。中～細砂を混入する。 GL-1.27m付近、φ50mmの礫を含む。 GL-2.20～2.65m間、細粒分が卓越する。	
4	2.87	4.60		盛土（シルト混じり砂）		黄褐			粗～中砂主体。GL-4.00m付近、φ20mm以下の亜角礫含む。 GL-3.90m付近、白色を呈す薬材である。 GL-4.30mm付近、白色を緑色を呈す薬材である	7/1 4.40
5	2.37	5.10		シルト質砂		黄褐～暗褐			細砂主体。部分的に細粒分卓越する。	7/2 5.06
	1.67	5.80		砂混じりシルト		暗灰			含水低、粘性中位のシルト主体。細砂を混入する。 GL-5.50～5.80m間、砂分無くなる。 GL-5.70m付近、白色を呈す薬材である。	
6 7	0.17	7.30		シルト混じり砂		暗灰～淡青灰			粗砂主体。GL-6.40～6.50m間、白色を呈す薬材である。 GL-6.80～7.00m間、白色を呈す薬材である。 GL-7.00～7.30m間、細砂主体となる。	
8	-0.63	8.10		砂混じりシルト		暗灰			含水低、粘性大のシルト主体。GL-7.40～7.50m付近、砂分無くなる。 GL-7.60m以深、白色を呈す薬材が認められる。	
9 10 11				礫混じり砂		黄褐～暗褐			粗砂主体。φ10mm以下の亜角～亜円礫を混入する。 GL-8.10～8.40m、9.80m付近は白色を呈す薬材である。 GL-9.60～9.70m間、緑色を呈す薬材である。	
12	-4.53	12.00		風化花崗岩		青灰			指圧により土砂化する。GL-12.45m、12.70m、13.00m、13.10m、13.40m、13.85mは白色を呈す薬材である。	
13 14	-6.53	14.00								

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験 現場透水試験	削孔月日
10.00	Tr11-1	TP	土粒子含水比 粒沈降 流潤密 UU	10.00 k=9.84E-7m/s 11.00	6/30
10.52 11.00					
11.82	Tr11-2	TP	土粒子含水比 粒沈降 流潤密 UU	11.00 k=3.31E-7m/s 12.00	7/1
					7/2